

秋季全国火災予防運動実施中

「守りたい 未来があるから 火の用心」

～2024年度全国統一防火標語～

11月9日（土）から11月15日（金）までの一週間、
秋季全国火災予防運動を実施中です。

火災が発生しやすい時季となりました。火の元に十分
注意して、安全にお過ごしください。



第17回防火ポスター展 四街道市長賞

四街道市立四街道小学校3年

まつざわ
松澤

ゆあ
結愛さんの作品

火災ゼロ！ ～防火ポスターに願いを込めて～

第17回防火ポスター展に、市内の小・中学校から107点が応募され、優秀作品9点が入賞しました。ポスター展は、小・中学生が図画や美術の学習を通じて防火ポスターを描くことで防火意識を高めるとともに、入賞作品を展示することにより、市民の皆様へ火災予防へ関心を持っていただくことを目的に行っています。

＜会場＞ イトーヨーカ堂四街道店 1階（11月9日～15日）
 南部総合福祉センターわろうべの里 1階（11月16日～24日）
 市役所 1階市民ホール（11月25日～29日）



市消防長賞
和良比小学校6年
サンティアゴコヒライヤナさん



市議会議長賞
四和小学校3年
宮久保翔太さん



市教育長賞
千代田中学校3年
千葉 瑞花さん



市校長会長賞
和良比小学校3年
高橋由衣さん



市消防団長賞
八木原小学校4年
長谷川大和さん



市危険物安全協会会長賞
八木原小学校5年
籠谷将晴さん



県危険物安全協会連合会長賞
四街道小学校1年
林優織さん



県消防設備協会会長賞
南小学校2年
大熊翼颯さん

義務設置です！住宅用火災警報器！！

設置義務です
住宅用火災警報器



【住宅用火災警報器とは】

火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。（光を発して知らせる機器もあります）

通常は、感知部と警報部が一つの機器の内部に組み込まれていますので、機器本体を天井や壁に設置するだけで機能を発揮します。

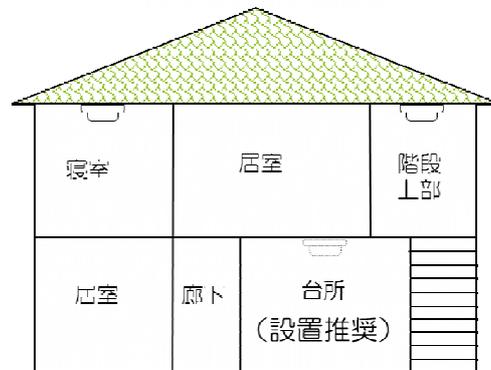
住宅用火災警報器のお手入れの3つのポイント

- ① 電池タイプは交換を忘れずに
定期的な作動点検のときに早めの交換をおすすめします。電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。
- ② おおむね10年を目安に機器交換をしましょう
機器交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか、音などで交換時期を知らせてくれます。
- ③ 定期的に作動するか点検しましょう
住宅用火災警報器が鳴るかどうかが、定期的に点検してみましょう。点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるものなど機種によって異なります。

不適切な訪問販売にご注意を！

消防職員が住宅用火災警報器や消火器などを販売することはありませんのでご注意ください。

住宅用火災警報器



※寝室が2階にあるご家庭の例

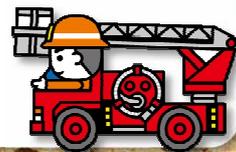
【義務設置場所】

寝室と、寝室が2階などの場合は、階段の天井または壁に設置が必要。
※台所は義務設置ではありません。

住宅用火災警報器の設置状況調査にご協力ください

市消防本部では、住宅用火災警報器の設置状況を把握し、より効果的な普及啓発・維持管理広報を行うために設置状況調査を行います。

- 調査期間 11月 9日（土）～15日（金）（秋の火災予防運動実施期間）
調査対象 100世帯を無作為抽出します
調査方法 消防職員が直接訪問し、聞き取り調査します
（訪問の際には消防手帳を提示します）



地震による電気火災への対策を！

東日本大震災における火災原因の過半数が電気火災でした。地震による電気機器からの出火や、停電の復旧時に発生する火災を防ぐには、感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーは、揺れを感知すると自動的にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。さまざまな種類があり、それぞれの特徴を踏まえて適切に設置しましょう。

- 分電盤タイプ・・・約2～8万円程度
内蔵型、後付型があり、センサーが揺れを感知してブレーカーを切って電気を遮断します。
- コンセントタイプ・・・約5千円～2万円程度
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。
- 簡易タイプ・・・約2～4千円程度（ホームセンター等で購入できます）
ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断します。

感震ブレーカーを
設置しましょう！！

